

# 家庭学習の進め方

保護者用

## 1 家庭学習の意義

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身につけるために必要であるだけでなく、学習する習慣を身につけさせたり、自ら学ぼうとする意欲を育てたりするのに必要です。

### (1) 学んだことの定着

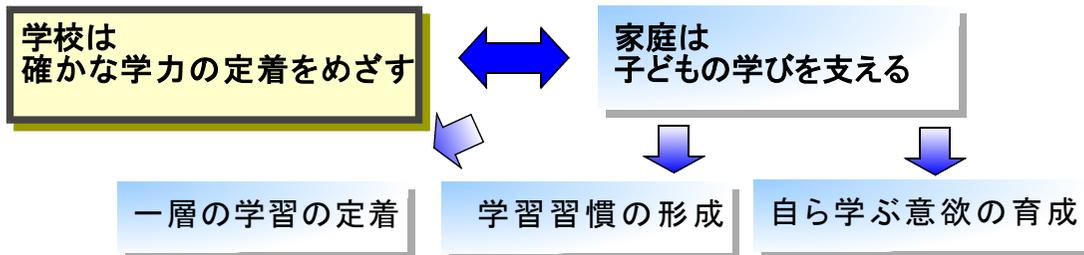
学校で学習したことが分かり使えるようになるためには、何度も繰り返し取り組むことが大切です。

### (2) 学習することの習慣づけ

学校での学習以外にも、家庭で毎日学習をする習慣を身につけることは、現在、さらに今後の子どもたちの成長のためにも必要になります。

### (3) 自分で学ぼうとする意欲の育ち

日常生活の中で課題を見つけ出し、追究していく姿勢を身につけます。



## 2 学力の定着には望ましい習慣を

家庭学習を進めて、家庭で子どもたちの学力を定着させるには、「生活習慣」「食習慣」「学習習慣」「読書習慣」の4つの習慣を身につけさせることが大切です。

### ① 生活習慣

学力の定着には規則正しい生活が大切です。一定の生活リズムを保つことにより、集中して学習に取り組むことができるようになります。

### ② 食習慣

規則正しい食事の習慣は、基礎体力をつけ、体を丈夫にします。学習にも体力が必要です。毎日朝御飯を食べさせることから始めてください。

### ③ 学習習慣

小学生のうちから、毎日学習する習慣を身につけます。「継続は力なり」です。

### ④ 読書習慣

子どものうちから本に親しみ、読書をする習慣を身につけることは、語彙を豊かにし、読解力をつけることにつながります。

# 家庭学習の取り組み方

## 1 まずは宿題から

- ① 最初に、担任から出る宿題をさせましょう。
- ② 次に、「進んで勉強しよう」(児童用の家庭学習の手引き)を参考にして学習をさせましょう。
- ③ 学習が終わったら、次の日の準備をさせましょう。

## 2 時間の目安

一般的に、学年×10分と言われます。(読書の時間は別にして)

### <家庭学習の時間の目安>

低学年	10分～20分程度
中学年	30分～40分程度
高学年	50分～60分程度

無理せず、根気よく!



## 3 家庭学習における保護者の役割

### ① 学習時間の確保

塾、習いごとなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、毎日必ず学習する習慣を身につけさせてください。曜日によって違うかもしれませんが、何時から何時まで勉強するというをご家庭でよく話し合っ、無理のない時間を設定してください。

### ② 学習環境づくり

テレビがついていたり、ご家族の方が大声で話をしていたりする中で勉強しても効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境の中で取り組むことができるようにしてください。ご家族の協力が欠かせません。

### ③ サポーター・伴走者

学習意欲の継続のためには、保護者の声かけや励まし、助言が大切です。保護者の方もお忙しとは思いますが、ときには一緒に取り組んでいただくと、子どもたちはより張り切ることでしょう。特に低学年の場合は、自分では正しくやっているつもりでも、誤りに気づかずにいることが多いと思います。保護者の方がとりにいて見守りながら取り組ませることが理想です。中・高学年でも、確認は必要です。

### ④ 学校との連携

かかわり方などご不明な点があれば、ご遠慮なさらないで担任に相談してください。